

すぐに使えるプログラム

Vol.115

ラインアップ～グループピング

ねらい 集まった子どもたち同士が、あまりなじみのない場合に行く。参加者同士知り合う。
参加者グループにとけこみ、緊張をほぐし、うちとけあう。

時間 30分

場所 広い場所

人数 10人

季節 いつでも可

用具 なし

手順

1. みんなで1重の円をつくります。

●「今回のグループは、どんな人たちの集まりでしょうか？」

「簡単なゲームをやって、お互いに知り合しましょう。」

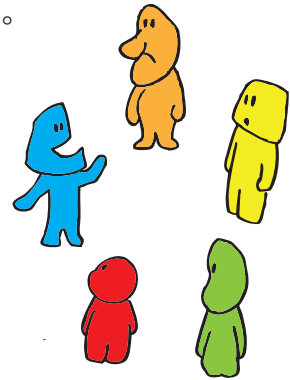
「知っている人の数を数えてみましょう。」

●1人も知らない人、知っているのが1人の人、2人の人…、と聞いて該当するところで手を上げます（あるいは一歩前に出ます）。

●0人～1人の人を取り上げた後で、次のようなコメントをしてみる。「今日は、今まで知らなかった人たちと、たくさん知り合いになれるチャンスですよ。」

●お題に関して並んでもらった時に、指導者は機転をきかせて、その場をなごませ、かつ参加者同士が知り合えるようなコメントを出すようにしましょう。

●常に参加者の様子を伺っていることが必要。ただ実施するのではなく、その場の雰囲気、空気を読みながら実施することを意識しよう。



2. どんな人の集まりか、軽く質問をしながら知り合う。

「ここまで来るのにかかった時間はどのくらいですか。」

「この場所に来たのは何回目ですか。」

例えば何回も来ている人がいれば「この人に場所のことは尋ねましょう」、と参加者同士のコミュニケーションを図ることもできるでしょう。

3. いくつかのお題を出し、無言で移動してもらい円の並び替え等をする。

【お題の例】

●住んでいる所（あるいは出身地）について、北から南に順に並ぶ。

●誕生日の順／手（足・身長）の大きさの順。

●血液型（→軽くグループの分析）／干支／星座など。

4. 参加者の緊張がやわらいでいるかどうか確かめながら進める。

「お互いについて少しは知り合えたでしょうか。」

「お互いに知り合うためには、相手のことを知ろうとするだけでなく、自分のことを出すこと（自己開示）が大切であることも意識しましょう」、などとコメントする。

※上記の例はあくまでも一例。いろいろと面白い「お題」で楽しみましょう。